

衆議院選挙の選挙協力について

10月13日、日本共産党茨城県委員会は、衆議院選挙の小選挙区の選挙協力について以下の内容を記者会見で発表しました。

2021年10月13日
日本共産党茨城県委員会

いよいよ衆議院選挙(10月19日公示、31日投票)です。勝利に向けて頑張ります。

誕生した岸田新政権は、9年間の安倍・菅政治の負の遺産を丸ごと引き継ぎました。国民が切望する新しい政治を実現するためには、市民と野党が力を合わせて、政権交代を実現することがどうしても必要です。

日本共産党は衆議院総選挙で比例代表選挙では全国850万票、茨城で20万票の獲得をめざし、比例・北関東ブロックでは現有1議席を2議席、3議席へと議席増をめざします。

小選挙区に党公認を擁立する4区と5区では、10月11日に茨城県市民連合から「推薦」をいただきました。

小選挙区は次の通りです。

4区 大内くみ子 (日本共産党) 公認

5区 飯田みやこ (日本共産党) 公認

他の小選挙区では野党共闘の勝利をめざします。9月8日、全国の市民連合と野党4党首(立憲・共産・社民・れいわ)の共通政策合意、9月30日の日本共産党と立憲民主党の党首間での歴史的な政権協力合意が成立しました。

これを受けての全国的な候補者の一本化については、本日、党本部から発表がありました。茨城6区では、田谷たけおの立候補予定をとりさげます。

この間、県内の各野党・候補者のみなさんと懇談を重ねてきました。

小選挙区では下記のように支援することを決定しました。

1区 福島伸亨氏

(無所属) 支援

2区 藤田幸久氏

(立憲民主党) 支援

3区 梶岡博樹氏

(立憲民主党) 支援

6区 青山大人氏

(立憲民主党) 支援

7区 中村喜四郎氏

(立憲民主党) 支援

以上

右は、10月13日、日本共産党小池晃書記局長が候補者一本化について記者会見した要旨です。

小池書記局長が小選挙区一本化について会見

候補者一本化の努力によって、今回新たに、共産党で一本化する選挙区が3、立憲民主党などで一本化する選挙区が21となりました。……(立候補を取り下げる選挙区で)これまで全力で奮闘し、今回立候補を取り下げる決断をしていただいた小選挙区候補者と地元党组织、後援会のみなさんに、心からの感謝と敬意を申し上げます。小選挙区での立候補を取り下げた立憲民主党の方々にも心からお礼を申し上げます。

そのうえで2点申し上げます。

一つは、一本化すれば自公与党と補完勢力に勝ち抜ける選挙区を、相談しながら最大限一本化する努力を重ねたことです。立憲の側も努力して立候補をとりやめる選挙区があり、相互主義での対応になったと考えています。その結果、一本化すべき選挙区は基本的に実現できたと考えます。

いま一つは、わが党は野党連合政権が必要だと一貫して主張してきましたが、今回の総選挙に向けては、共通政策を確認し、政権協力の合意も確認できました。党首会談で志位委員長は「枝野代表の決断に敬意を表する」と述べました。立憲民主党の決断をふまえて、わが党も決断する必要があると判断し、立候補の取り下げを行いました。

日本共産党と立憲民主党の党首会談での合意をふまえて、わが党は一本化した選挙区での勝利のために全力をつくします。

茨城民報

2021年10月13日号

発行／日本共産党茨城県委員会

〒310-0804 水戸市白梅3丁目13番8号

☎ 029-353-8290 FAX. 029-291-6935 メール jcp@ibjcp.gr.jp

日本共産党の見解を紹介します。